

「選挙のプロ」による 「解散総選挙」 全議席予測



石破自民 24減 単独過半数割れ ギリギリ

衆議院選 党派別獲得議席予測

党派	現有議席			獲得議席 (予測)			増減
	合計	小選挙区	比例区	合計	小選挙区	比例区	
自民党	258	190	68	234	166	68	- 24
公明党	32	9	23	30	9	21	- 2
与党 計	290	199	91	264	175	89	- 26
立憲民主党	98	60	38	112	74	38	+ 14
日本維新の会	41	17	24	43	17	26	+ 2
共産党	10	1	9	10	1	9	± 0
国民民主党	7	4	3	12	5	7	+ 5
教育無償化を実現する会	4	1	3	2	1	1	- 2
れいわ新選組	3	0	3	5	0	5	+ 2
社民党	1	1	0	2	1	1	+ 1
参政党	0	0	0	0	0	0	± 0
日本保守党	0	0	0	1	1	0	+ 1
野党 計	164	84	80	187	100	87	+ 23
諸派・無所属	11	6	5	14	14	—	+ 3
欠員	0	0	0	0	—	—	± 0
合 計	465	289	176	465	289	176	

衆院正副議長は所属政党に含む。教育無償化を実現する会は日本維新の会に合流する。現有議席は10月1日現在

石破首相ブレた発言、新政権浮揚効果薄く
裏金議員の選挙区で明暗
維新の勢いに陰り、日本保守党が議席



選挙プランナー
三浦博史

新しい首相は国民の「納得と共感」を得られるのだろうか。トップに立った途端、自民党総裁選での発言を撤回すること数々。裏金問題で処分を受けた議員も公認するという。厳しい審判は覚悟の上か。選挙のプロによる解散総選挙の全議席予測をお届けする。

激戦の自民党総裁選を制した石破茂氏は、「早期決戦」に踏み切った。10月9日に衆院を解散し、15日公示、27日投開票の日程で総選挙を行うことを表明。首相就任から8日後の解散、26日後の投開票はいずれも戦後最短だ。

総裁選の段階では早期解散に慎重な姿勢を見せていた石破氏だが、総裁就任が

決まると一転、解散を急いだ。そんな新首相の「ブレた発言」に対し、「政治とカネ」問題や災害対応などで、国会論戦を望んだ野党からは批判の声が高まっている。立憲民主党の代表で元首相の野田佳彦氏は石破首相に対し、「議論なき解散は『臭いもの』にフタ解散」と憤った。

与野党の対決色が強まる衆院選は、果たしてどんな結果が待っているのか。本誌でお馴染みの選挙プランナー・三浦博史氏に、現時点での各党の獲得議席を予

測してもらおう。

まず自民党は、現有258議席から小選挙区で24議席を減らし、比例は増減なしという予想。計234議席となり、単独過半数(233議席) 割れギリギリのラインだ。

三浦氏が前回、岸田文雄政権時に行った議席予測(本誌6月9日号)では、自民の獲得議席は、小選挙区37減、比例13減の計50減。三浦氏は「政治資金問題への対応などで、岸田離れ、自民離れが進んでいる」との見方を示した。

今回の予測では、自民の減り幅が小さくなっている。新政権誕生が追い風となったのか。三浦氏が説明する。「岸田政権の時より、自民に対する逆風は弱まったと言えます。9候補によ

野党一本化進まず「共倒れ」
1区対決は与党25勝22敗

でも派閥カラーが減った半面、「石破カラー」が強く、とても「オール自民」という雰囲気ではありません。共同通信が10月1、2両日を実施した全国緊急電話世論調査で、石破内閣の支持率は50・7%。調査方法が異なり単純比較はできないものの、岸田内閣発足時

立憲、野田代表で勢いを増すも…

だが、今回の予測でも、野党は議席を大幅に増やせていない。政党支持率を見れば、野党が軒並み支持を広げられていないのだ。

前述の共同通信調査の政党支持率を見ると、自民42・3% (前回8月調査36・7%)、立憲11・7% (12・3%)、日本維新の会5・4% (8・5%)、公

(2021年10月)の支持率は55・7%、菅義偉内閣(20年9月)が66・4%、第2次安倍晋三内閣(12年12月)は62・0%だったことを考えると、新政権発足の浮揚効果は薄い。最新の世論調査で、自民が「思ってたほど伸びない」との三浦氏の発言を裏付ける。

明党4・1% (4・2%)、共産党4・0% (4・2%)、国民民主党3・9% (2・8%)、教育無償化を実現する会1・5% (0・1%)、れいわ新選組2・5% (3・3%)、社民党0・4% (1・0%)、参政党1・1% (2・3%) など。無党派層は18・6% (17・8%) だった。

野党の伸び悩みの背景の一つに、維新の勢いの陰りがある。三浦氏による今回の予測では、維新は小選挙区では増減なし、比例2増

みうら・ひろし 1951年、東京都生まれ。慶應義塾大学法学部卒。89年に日本初の選挙プランニング会社「アスク」を設立

	2005年	2009年	2012年	2014年	2017年	2021年	2024年
政権与党	自公政権	自公政権	民主政権	自公政権	自公政権	自公政権	自公政権
	政権交代		政権交代		政権交代		
与党勝敗	33勝14敗	8勝39敗	5勝42敗	35勝12敗	35勝12敗	29勝18敗	25勝22敗
選挙区	議席を獲得した政党						
北海道1区	民主	民主	自民	民主	立憲	立憲	野党
青森1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
岩手1区	民主	民主	民主	民主	希望	立憲	野党
宮城1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	野党
秋田1区	民主	民主	自民	自民	自民	自民	野党
山形1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
福島1区	自民	民主	自民	自民	無(野)	立憲	野党
茨城1区	自民	民主	自民	自民	自民	無(野)	野党
栃木1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
群馬1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
埼玉1区	民主	民主	自民	自民	自民	自民	与党
千葉1区	自民	民主	民主	民主	自民	立憲	野党
神奈川1区	自民	民主	自民	自民	自民	立憲	野党
山梨1区	民主	民主	自民	民主	無(野)	自民	野党
東京1区	自民	民主	自民	自民	立憲	自民	与党
新潟1区	民主	民主	自民	自民	立憲	立憲	野党
富山1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
石川1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
福井1区	自民	自民	自民	自民	自民	自民	与党
長野1区	自民	民主	民主	民主	無(野)	自民	与党
岐阜1区	無(与)	民主	自民	自民	自民	自民	与党
静岡1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
愛知1区	民主	民主	自民	自民	自民	自民	野党
三重1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
滋賀1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
京都1区	自民	民主	自民	自民	自民	自民	与党
大阪1区	自民	民主	維新	維新	自民	維新	野党
兵庫1区	自民	民主	自民	維新	自民	立憲	野党
奈良1区	民主	民主	民主	民主	自民	立憲	野党
和歌山1区	自民	民主	民主	民主	希望	国民	野党
鳥取1区	自民	自民	自民	自民	自民	自民	与党
島根1区	自民	自民	自民	自民	自民	自民	与党
岡山1区	自民	自民	自民	自民	自民	自民	与党
広島1区	自民	自民	自民	自民	自民	自民	与党
山口1区	自民	自民	自民	自民	自民	自民	与党
徳島1区	民主	民主	自民	自民	自民	無(野)	与党
香川1区	自民	民主	自民	自民	自民	立憲	野党
愛媛1区	自民	自民	自民	自民	自民	自民	与党
高知1区	自民	自民	自民	自民	自民	自民	与党
福岡1区	民主	民主	自民	自民	自民	自民	与党
佐賀1区	自民	民主	自民	民主	無(野)	立憲	野党
長崎1区	民主	民主	自民	自民	希望	国民	野党
熊本1区	民主	民主	自民	自民	自民	自民	与党
大分1区	民主	民主	自民	民主	自民	無(野)	野党
宮崎1区	自民	無(野)	自民	自民	自民	立憲	野党
鹿児島1区	自民	民主	自民	自民	立憲	自民	与党
沖縄1区	無(野)	国新(野)	自民	共産	共産	共産	野党

※無は無所属、国新は国民新党、希望は希望の党。カッコ内の与は与党系、野は野党系

石破自民24減、単独過半数割れギリギリ

の計2増で43議席にとどまる。前回の予測では14増だった。何が違ったのか。

「維新は数カ月の間に、大阪府内はもとより全国的に勢いが落ちています。内部分裂が露呈していて、選挙で推薦した兵庫県の斎藤元彦前知事のバワハラ疑惑への対応や失職に伴う知事選の候補者擁立でも、すったもんだがありました」(三浦氏、以下同)

維新失速の影響はどう出るのか。

「無党派層の多くは、保守系だと言えます。『自民は何をやっているんだ』と不満に思う有権者が維新に流れていった傾向があり、自民にとって維新は脅威でした。ここに来て維新の下降気味は自民にプラスに働きます」

維新には、教育無償化を実現する会が合流するが、効果は不明だ。

野党第1党の立憲は、小

選挙区で14増、比例は現状維持で現有98議席から112議席に伸びます。「野田代表になって立憲の勢いは増すでしょう。ただ、他の野党と選挙協力体制を築けない限り、増加幅は限定的です」

続いて、自民と連立政権を組む公明は、比例で2議席を減らすのが堅い戦い。共産は、現有議席をキープ。強力な支援労組の存在もある。

急な解散、マイナス面とプラス面

この結果、自民・公明で264議席と、与党で過半数は上回る。その要因として、野党共闘が進まないことが挙げられる。早期解散によって、候補者一本化の調整をする時間が非常に限られているためだ。

「急な解散は、石破政権に対する疑問や不信を生む点でマイナスですが、選挙戦だけを見ると野党共闘が

る国民は、小選挙区1増、比例4増とみる。れいわは、生活困窮層を中心に支持を広げて比例2増。社民は比例1増と予想している。

一方、作家の百田尚樹氏らが昨年立ち上げた日本保守党は、小選挙区で1議席。同党共同代表で愛知1区から出馬を表明している名古屋市長の河村たかし氏の当選を見込む。

進まないという点で自民にとってプラス。野党が候補者を一本化したら、かなり多くの選挙区で自民が危なくなるからだ」

小選挙区定数「10増10減」などを受けた新区割りによる初の衆院選は、各地で激戦が繰り広げられる。47都道府県の1区の勝敗を見てみよう(左表)。「09年の政権交代時は、自公政権

が8勝39敗となり、野党が大勝。12年の民主政権は5勝42敗で、わずか3年3カ月で下野した。1区の勝敗は政権交代の指標とも言える。今回の予測では、与党の25勝22敗。野党の一本化が進まず、「共倒れ」となる選挙区が見え始める。

首都・東京決戦はどうか。1区では維新が参院議員の音喜多駿氏を擁立し、自民現職の山田美樹氏に挑む構図だ。前回予測では音喜多氏優位としていたが、状況は一転。「維新の勢いがなくなった影響が大きい」と、山田氏がリードする状況だ。

26区は、東京都知事選で小池百合子氏に敗れた元参院議員の立憲・蓮舫氏の動向が注目される。ただ、仮に出馬しても、選挙上手の無所属現職の松原仁氏が優位とみられる。

さて、国民の厳しい目が注がれる。裏金議員。につ

所属で立候補を決めていて、激戦が繰り広げられそう。徳島2区は、自民現職の山口俊一氏に対し、前徳島県知事の飯泉嘉門氏が無

今後、決戦が近づく中で、「自民が伸びていくことは

考えにくい」と三浦氏。石破首相のさらなる「ブレた発言」や自民党内からスキヤンダルなどが出てくれば、状況は変わっていくだろう。

野党の候補者調整もますます活発化していく。与野党の一挙手一投足に注目だ。ジャーナリスト・一ノ瀬伸

本誌・山本浩資

石破首相よ、いまこそ 角栄を想起せよ

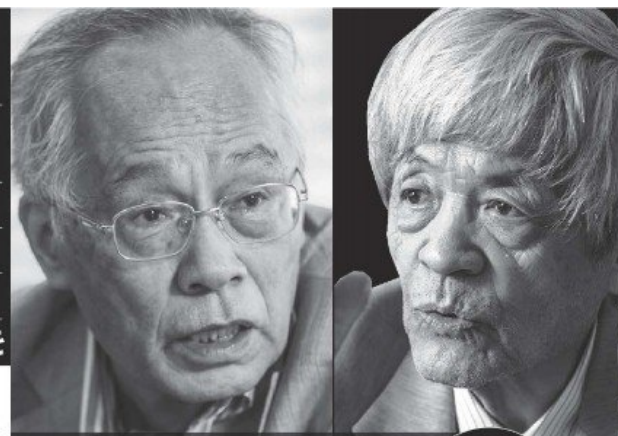
解散前倒し、裏金議員公認など、発足と同時に失速した石破政権。所信表明演説には独自の展望があったとは言え、国民の期待に応えてくれる手ごたえは、まだ感じられない。安倍支配下、あるべき保守政治を本誌で語り続けた石破氏に、敬意と、現状への批判を込めつつ、激辛対談をお届けする――。



内憂外患、
前途多難な
スタート

辛談
激対

信×総
高田
佐原
田原



前言撤回の超速解散
選挙にもマイナス
論功人事
外科手術が必要な時に漢方薬
裏金議員を非公認に
世襲制限に手をつけよ
アベノミクスを総括せよ
金融課税・法人増税で格差是正を

前途多難な船出となった。石破茂新政権である。自民党内では高市早苗氏ら非主流勢力が、隙あらば新政権の失態につけ込まんと虎視眈々と狙っている。経済界は、石破氏が公言してきた金融課税強化、法人増税を警戒している。同盟国・米国もまた、石破氏がこの総裁選で打ち出した日米地位協定の改定、アジア版NAATOの創設について、お手並み拝見とばかり、冷やかな構えである。まさに内憂外患。ただ、それは最初から予想されていたことでもある。想定外は、衆院の解散総選挙の超

速日程の設定と、それに対する野党、国民世論の大反発であった。総選挙前に国民に判断してもらう材料をできるだけ多く提供する、そのためには予算案での論戦を行うべきだ、と明言していたのが、あつという間に後退した。なぜか、という説明、その代替措置についても説得力を欠いた。これはいけない。あまりにもわかりやすい前言撤回であり、石破氏の最大の武器である言葉の力に影を投げかけた。党内基盤の弱い政権はメディアを通じて国民世論に支えられるしかない。三木武夫、中曽根康弘

政権がそうだった。それを百も承知のはずなのに最初から願った。政権発足間もないハネムーン期間にあるはずのメディアを敵に回した。野党には裏金に加え、「約束を守らない石破さん」という攻めの材料を与えた。なぜ解散をそこまで急いだのか。これまた多分に政権基盤の弱さが背景にある。非主流派や経済界、米国からの抵抗、牽制、介入を受ける前に、国民からの信任を取り付け（自公で過半数獲得）、一刻も早く足場を固めたい、との焦りがある。1日でも選挙が早い方が新政権のポロが出なくて済み、野党の連携を阻止できる。1議席でも多く救いたい、との判断だ。戦術的には正しいかもしれないが、戦略的にはどう転ぶか。選挙結果次第では、新政権はのっけから苦境に立たされるかもしれない。

と罰（山本謙三著 講談社現代新書）だ。日銀理事まで務めたOBによる完膚なきまでの批判である。同書は、異次元緩和と策実施期間を「前代未聞の経済実験の11年」とし、その罪として「物価目標2%の絶対視」「財政規律の弛緩」「金融市場のゆがみ」を、その罰として「出口に待ち受ける途方もない困難」

「国と通貨の信認の低下」を挙げている。黒田東彦前総裁率いる日銀がなぜ途中で引き返せなかったか、については、「自らの読み違いを真正面から認めることに強い躊躇があった」と分析。この政策が経済機能的には財政法で禁止されている財政ファイナンス（日銀の国債引き受け）とほぼ同等であった、と論証している。

で不遇をかこつてきた。僕はそこは買っている。佐高 石破は裏金議員には厳格に対処し、金融課税、法人増税も検討すると言っていた。しかしにわかにトインダウンしていないか。田原 そこまでできるかどうか。なぜ石破が決選投票で高市に勝ったか。自民党の良心とかではないと思う。無難だと思っただよ。自民党を大きく変える気がないと見て皆が支持した。佐高 高市が党員票トップというのにも気になる。私は統一教会的な宗教右派が動いていると見る。それが欧州の右翼政党台頭の世界的潮流とどう連動するか。田原 いま新しい戦前と言われている。ウクライナ、中東の戦火に対して日本は無力だ。台湾有事も喧伝される。この状況に何かできないか。強い日本を唱える高市に共感を持った。

石破の理想主義と森山の現実主義

それでも、新政権には使命を忘れてほしくない。その一つがアベノミクスの総括である。安倍晋三氏の影響力が強かった時代には、成し得ぬ作業。石破政権でやっと縛りが取れた。この経済政策への厳しい検証なくして、政策刷新はない。議論する上で格好な教材も登場したことを紹介しておきたい。「異次元緩和の罪

対米自立を模索し、中国と対話を

さて、ここからは前号予告の通り、ジャーナリストの田原総一郎氏と評論家の佐高信氏の対談だ。奔放に新政権を斬つていただいた。田原 総裁選からいこう。辛口の佐高はどう見たか？ 佐高 ひと言でいえば、違和感だ。候補9人のうち1人も護憲派がいなかった。世論調査をすればまだ国民の半数近くが護憲派だ。にもかかわらず9分の0。こ

れは世の中とズレている。そんな国民政党でいいのか。自分たちがしでかした裏金、旧統一教会問題への反省も足りない。メディアも、あまりに忘れやすい。田原 石破という選択は？ 佐高 高市になるよりは、ずっといいと思ったが。田原 僕も3人の中では、石破がいいと思った。安倍1強時代、安倍を批判したのは石破だけだった。それ

たはら・そういちろう 1934年、滋賀県生まれ。ジャーナリスト。タブーに踏み込む数々の取材を敢行し、テレビジャーナリズムの新たな領域を切り開いてきた。「創価学会」など著書多数

きたか・まこと 1945年、山形県生まれ。ジャーナリスト、経済評論家。著書に『逆命利君』『タレント文化人200人新刊』『西郷隆盛伝説』『佐高信の昭和史』『官房長官 菅義偉の陰謀』など多数

たはら・そういちろう 1934年、滋賀県生まれ。ジャーナリスト。タブーに踏み込む数々の取材を敢行し、テレビジャーナリズムの新たな領域を切り開いてきた。「創価学会」など著書多数

石破首相よ、いまこそ角栄を想起せよ

ありきの展開だった。保守中間層にウイングを広げ、裏金事件で離れた自民支持票の受け皿になろうという小沢一郎の戦略だ。

佐高 小沢が野田を担いだ。原敬が山県有朋を担いだやり方との指摘もある。

田原 二度あることは三度ある。小沢の最後の闘いだ。ただ、本来は政権交代すべき局面だが、そこまで盛り上がりつけない。僕が疑っているのは、本場に立憲に政権交代する気があるのかだ。本音として、政権とつたら大変だと思っていないか。

野党第1党の心地よさに埋没している面はないか。

佐高 石破新政権に戻る、外交・安保政策が気になる。懸念は日中関係だ。日本人学校の生徒が刺殺されるなど、緊張関係が高まっている。これが悪循環を呼び、両国間の国民感情が反日、反中エスカレートしていくことを恐れている。

佐高 それにしてもこの総裁選、9人の討論を聞くにつけ、人材枯渇がここまで来たかと。誰より河野太郎の化けの皮がはがれた。

田原 3年前は党員票で1位だったが、今回は8位。何がどう変わったのか。

佐高 脱原発を捨てた。派閥と戦う構えが麻生派の丸抱えになった。突破力売り物にしながら気に入らないアカウントをブロックした。それとマイナ保険証だ。

田原 石破の組閣・党人事ぶりをどう見るか？ 総裁選での論功行賞と、岸田派優遇が目立ったね。

佐高 今の自民党には裏金疑惑を一掃し、新しい党に生まれ変わる大胆な外科手術が必要なのに、漢方療法で何とかしようとしている。

田原 面白かったのは、高市を優遇しようと総務会長を打診したが断られた。

佐高 12年の総裁選では、決選投票で勝った安倍が第

1回投票トップだった石破を幹事長にしたではないか、なぜ同じことが私にできないの、と。高市も幹事長なら受けたのだろう。

田原 石破は幹事長は森山裕と決めていた。党内基盤の弱い石破からすれば、安倍、菅、岸田政権を通じて国対委員長、選対委員長、総務会長を務めた森山の党内掌握力が必要だった。岸田の推しもあったと思うね。

佐高 二階堂進の流れをくむ森山は興味深い政治家だが、その森山人事がマイナスに働いた。予算委質疑をしてから解散という石破の理想主義が、森山の現実主義に押し切られてしまった。

田原 ご祝福ムードがこれで吹っ飛んだね。言っていることとやっていることが違うじゃないかと。政権には厳しいスタートとなった。

佐高 石破が自ら公認権を振りかざして、裏金議員を切る迫力を出さなければ取

り戻せないのに、基本公認、比例重複もOKとは失望だ。

田原 党内力学からできない。時間的余裕もない。

佐高 それと、アンチ石破で動いた麻生太郎を最高顧問として処遇し、麻生が受

反日・反中を回避する外交努力を

けた。森山の知恵だろう。

田原 一種の党内融和策だ。一方で、安倍政治への決別という明確な意思表示もしている。村上誠一郎の総務相起用がそれだ。安倍を「国賊」と批判した人物だ。

という選挙制度の見直しだ。死に票が多い。権力が過度に集中する。1強多弱が構造化する、など問題点が多すぎる。石破にもその問題意識はある。

田原 選挙制度改革については、僕にも責任がある。導入時に推進派の後藤田正晴に必要性を説かれ、時の宮澤喜一首相を問い詰め、結果的に政権を潰してしまつた。最大の問題は、首相権限強化で、自民党国会議員全体がイエスマンになり下がることだ。健全な党内野党が育たなくなる。

佐高 野党といえば、立憲民主党の代表選もあった。

田原 自民党以上に新鮮味がなかったね。

佐高 救いだつたのは4人目の候補、吉田晴美だ。野党第1党に女性候補がいる、という幅を持たせた。

田原 ただ、吉田を立たせたのは立憲のアリバイ作りの感もあり、野田佳彦代表

角栄のようにアメリカに対峙せよ

田原 今こそ外交が重要だ。僕は石破には中国と仲良くしろと言うつもりだ。官房長官の林芳正は、二階俊博の対中友好姿勢を受け継いでいる。

佐高 林は宏池会系的リベラル姿勢を岸田よりも継承している。一方、自民党内に

は、甘利明、高市、小林鷹之ら米国の中国包囲網に乗り、中国を敵視する経済安全保障推進勢力がいる。経済に政治が介入すべきではないが、石破がコントロールできるかどうか。石破は総裁選直前に台湾に行ったが、行く必要があったのか。

用政調会長の小野寺五典、首相補佐官の長島昭久も防衛族だ。石破は地位協定の改定、アジア版NATO創設を公言してきた。日米同盟をどう見直すのか。

田原 同盟の中で日本がどこまで主体性を持てるかが問題だ。沖縄の新基地問題で、沖縄県民の主張を実現できるかどうか、それが一つの試金石になる。

佐高 実現すれば得点だ。田原 安倍政権時代、安保法制が成立した後、次の課題として地位協定の改定を安倍に勧めたことがある。安倍もその気になった。ただ、外務省の事務次官が僕に、それはできませんと。そこは田中角栄の精神を発揮できるかどうかだ。

田原 ロッキード事件の時に、角栄は米国に潰されたと言いたのは僕だ。「アメリカの虎の尾を踏んだ田中

角栄」(中央公論 76年7月号)というリポートだ。口事件の真相は、単なる汚職事件ではなく、米国の国際的なエネルギー戦略から自立を図ろうとした田中がその逆鱗に触れた、つまり米国の虎の尾を踏んで、逆襲を受けたものだ、との推論だ。田中批判一色とは異なる見立てを打ち出した。

佐高 あれからもう半世紀だ。石破は地位協定改定を含め、言ったことをちゃんとやることだ。そこは田原さんに同調する。中国も敵視するなど。まとめて言えば角栄に帰れということだ。

田原 角栄に帰れば米国にやられる、と僕は思うね。

佐高 では角栄を想起せよ、でもいい。潰すなら潰してみろとアメリカに対峙せよ、と石破に言いたい。

◇ ◇

両御大、脂が乗ったところで時間切れだ。余韻を残してこの場は収めたい。

緊急提言②

果たしてレプリコン ワクチンは安全なのか

「自己増殖型」という新しい仕組み▽多くの健康被害を生んだファイザー&モデルナとの相違点とは



高齢者の新型コロナワクチン定期接種から、新たに登場したのがレプリコンワクチンだ。待望の国内メーカーによるワクチンである一方、「体内で増殖する」仕組みから、さまざまな議論を呼んでいる。その効果と安全性を、専門家とともに分析していく。

4月17日、新型コロナワクチン接種後に死亡した8人の遺族と、副反応の健康被害を受けた5人の計13人が国に対して、総額915

2万円の損害賠償を求めて東京地裁に集団提訴した。

また6月3日には、安全性の確証がないのに新型コロナウィルスのワクチンを

特例承認し、接種を推進したとして、2回目接種の翌日に死亡した当時73歳の男性の遺族が、国と神戸市、ファイザーの日本法人に計約3200万円の損害賠償を求める訴えを神戸地裁に起こした。

新型コロナワクチン接種後に健康被害にあった場合、遺族や後遺症患者が国に対して申請できる予防接

種健康被害救済制度というものがある。これまで、そこに救済申請を行った数は1万2004件。そのうち国からワクチンによる健康被害と認定されたのは8180件であり、申請件数全体の約7割にあたる。また厚生労働省が「ワクチン接種と死亡との因果関係が否定できない」と認定した人は843件にのぼっている

(9月26日現在)。
では、なぜファイザーやモデルナといった従来の新型コロナワクチンで健康被害が相次いでいるのか。京都大名普教授であり、薬剤疫学分野の専門家でもある福島雅典氏はこう語る。

「これまでに私たちが接種してきた生ワクチンや不活化ワクチンは、ウイルスや細菌そのもの、あるいはそ

※1 mRNAはタンパク質を作るために必要な遺伝情報のコピーを作成する役割を持つ。遺伝情報はDNA→転写→mRNA→翻訳→タンパク質の順に伝達される。mRNAワクチンには、スパイクタンパクを人間の体の中で作るためのmRNAが入っている

とができると考えられる。

しかも体に抗体(※2)を作るために分解されづらいよう修飾されているので、人によっては体内でスパイクタンパクを長期間作り続けてしまします。体のどの組織や細胞でどれくらい、いつまで作られて、どのような点が多いのかなど、わ

ることもあります。血栓が心臓の血管で起これば心筋梗塞、脳の血管で起これば脳梗塞を引き起こすので

クを生産する細胞というのは異常な細胞として認識されて、抗体により攻撃されてしまします。そのためmRNAによりスパイクタンパクを作っている自分自身の細胞を、自分自身の免疫システムが攻撃してしまうのです。それにより自己免疫疾患や各臓器の機能不全など、あらゆる疾患が起

イルスのスパイクタンパクが検出されました。その患者さんには新型コロナウィルスへの感染歴がなかったことから、このスパイクタンパクはmRNAワクチンに由来する可能性が高いと考えられます。

私はその状態をオフターゲット(的外れ)、オーバープロダクション(過剰生産)、アウト・オブ・コントロール(制御不能)という言葉で説明しています」(福島氏)

接種開始後まもなくの頃、厚労省のHPでは、「成分は数日以内に分解され

融合性斑状丘疹紅斑を発症しました。大小の紅斑が体幹や四肢などに広がり、融合したようになる症状です。その女性の皮膚病変は時間とともに広がり、3カ

佐野氏の論文は「The Journal of Dermatology」という皮膚科分野の査読付き国際ジャーナルに複数掲載されている。

「スパイクタンパクが血管内皮細胞にあるACE2受容体(※3)につくことによ

「86歳の女性は2回目のmRNAワクチンを接種後、リン汗腺に、新型コロナウ

融合性斑状丘疹紅斑を発症しました。大小の紅斑が体幹や四肢などに広がり、融合したようになる症状です。その女性の皮膚病変は時間とともに広がり、3カ

その部分で人間の細胞表面にあるmRNAワクチンが感染が起ころ。mRNAワクチン

※2 抗体とは、病気の原因となるウイルスや細菌などが体内に入ったときに異物として攻撃し、体外に排除する役割を持つタンパク質のこと。抗体がその抗原(感染症における細菌やウイルスなど)と結合し、異物を体から排除する

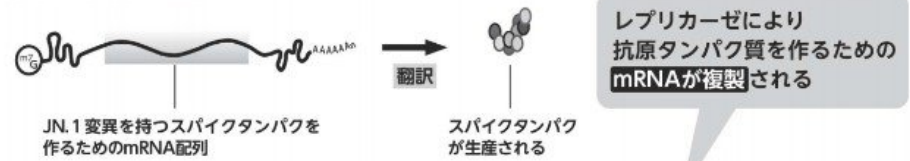
※3 スパイクタンパクは、自然界に存在する新型コロナウィルスの表面にある。ACE2という受容体タンパク質と結合することにより、細胞内に入り込み、感染が起ころ。mRNAワクチン

リン汗腺に、新型コロナウ

その部分で人間の細胞表面にあるmRNAワクチンが感染が起ころ。mRNAワクチン

mRNAワクチンと自己増殖型レプリコンワクチンの体内でのメカニズム

mRNAワクチン



レプリコンワクチン



Gene Ther. 2021;28 (3-4) :117-129.、Meiji Seikaファルマの資料をもとに作成

来型より少なくして、その代わり人間の細胞の中に到達したあとに、mRNAを増やす仕組みになっていることから、「自己増殖型ワクチン」とも呼ばれている。レプリコンとは「複製」という意味だ。そのレプリコンワクチンが正式に承認されたのは日本が世界初だ。ベトナムや欧州でも申請が行われているが、まだ承認されていないので、日本人が「世界に先駆けて」接種することになる。

本誌の取材に対して、日本における供給・販売契約を結んでいるMeiji Seikaファルマはこう説明した。

「mRNAというのは、そもそも非常に不安定なものです。そのため従来のmRNAワクチンの場合には30μg（※4）とか60μgというように、接種の際に大量に使用する量を取ります。しかし、レプリコン

ワクチンはそれを5μgと非常に少ない量にしています。その代わり複製酵素を入れることで、細胞内でmRNAを増やす仕組みです」

体の中でmRNAが増えるのであれば、いつレリーキがかかるのか。そう不安視する声もあるが、どうなのだろうか。

「マウスの実験では、レプリコンワクチンを接種した部位でのmRNAの量は8日目から極めて低いレベル

になりました。スパイクタンパク量が減るにはもう少し長い期間が必要ですが、それも15日目以降は検出されていません。増え続けるのではと心配される方もいますが、mRNAやスパイクタンパクを分解する体内の酵素が働くので、ずっと作り続けることはできません。このように接種後まもなく、検出されなくなりま

す」(Meiji Seikaファルマ)

大規模接種時の効果や安全性は？

同社によるとレプリコンワクチンは、新型コロナウイルスの感染を抑制する高い中和抗体価が得られるとしている。またその効果が、半年程度の長いあいだ持続するという。では、副反応はどうなのだろうか。

「レプリコンワクチンの臨床試験は先行してベトナムで実施されました。その際

※4 μgは1mgのさらに1000分の1

一方、不安視する声もある。6万人の一般会員を擁する「mRNAワクチン中止を求める国民連合」の賛同団体のひとつである「高知有志医師の会」に所属する宣保美紀氏はこう話す。

「日本国内での臨床試験ではファイザー製ワクチンと比較して、レプリコンワクチンのほうが抗体価が高く、長く持続していること、また短期の副作用は同等だったということは公表されています」。

でも、その臨床試験に使ったのは今月からの接種となるオミクロン株JN.1対応のワクチンではありません。以前に流行した起源株に近いB.1変異株用のワクチンです。今回のオミクロン株JN.1対応のワクチンでは、動物実験の非臨床試験しか行われていないのです。しかもマウス8匹のみに投与した結果の抗体価しか公表されていませ

ん。

従来のmRNAワクチンにおいては、過去に前例がないほどの大きな被害が起きています。しかもそれに対して、国は決して公平な精査をしていないと思えません。そういった現状の中で、mRNAそのものを体内で複製し、その増殖し

ワクチン開発には本来10年は必要

また薬剤疫学や医薬品情報学の専門家であり、東京理科大学薬学部客員研究員の堀内有加氏もこう話す。

「本来、ワクチンの開発には、有効性のみならず安全性の確認をするために、少なくとも10年は必要だといわれています。mRNAワクチンは、人間の体内でウイルスのスパイクタンパクを作らせるという人類史上初めて使用するタイプのワクチンですから今後、長期で見たときにどのような影

響が体に出るかはまったくの未知数といえます。またレプリコンワクチンについては投与量が少なくすむので、現行のmRNAワクチンに比べて、mRNAを包んでいる脂質ナノ粒子が持つ強い炎症による副反応は、抑えることができるかもしれません。でもスパイクタンパクを体内で増殖させることから、その血栓形成作用による副反応が起きることは十分に考えられます。また、人によっ

ては大量にスパイクタンパクが作られるので免疫応答が強く誘導されて、その過剰な免疫反応が自己の細胞や組織に向けられ、さまざまな副反応を引き起こすリスクもあるでしょう。いずれにしても、ベトナムでの臨床試験開始からまだ3年しか経っていませんし、国内で第Ⅲ相臨床試験（※5）が始まってからわずか2年足らずです。実用化するには時期尚早です。安全性の確認は不十分といえます」

さらに堀内氏は、ワクチンの承認システムそのものについても懸念を唱える。

「これまでのワクチンはウイルスや細菌、またはその一部を弱毒化、無毒化したものでした。また常用する薬と違って、接種回数は1〜2回とある程度限定されています。だからワクチンの非臨床試験では、がん原性試験や遺伝毒性試験などは「通常、必要としない」

す。緩い規制のもと承認をして、高齢者や基礎疾患のある重症化しやすい人に世界で初めて接種させるというのは、私には暴挙としか考えられません。なぜそこまで急ぐ必要があるのでしょうか。人体実験といわれども、仕方ないと考えます」

本誌は、オミクロン株JN・1の承認の基準について厚労省に質問し、以下のような文書での回答を得た。

「23年5月、ICMRA（薬事規制当局国際連携組織）において、当時国際的に承認され、使用されているワクチンについては、新型コロナウイルスワクチンの株変更について十分な経験があることを踏まえ、株変更の薬事手続きの際に、必要な品質に関するデータ及び非臨床試験成績のみをもって速やかに株変更を認めるという方針についてコンセンサスが得られています」

つまりは、レプリコンワクチンは以前に流行した起源株に近い変異株対応のワクチンです。すでに承認を得ているので、今度のJN・1株では一部変更承認という

閉ざされてきた健康被害の情報

しかし堀内氏は、「mRNAワクチンにも同様の基準が採用されていました。最初に承認された起源株のmRNAワクチンは、接種開始当初から多くの健康被害が報告されていたにもかかわらず、『安全性について重大な懸念は認められない』として、その後の変異株ワクチンの一部変更承認してきたのです。そういった承認のシステムそのものに問題があります。ましてやレプリコンワクチンは、過去に承認されている起源株対応のワクチンです。これまで予防接種として人に使用した実績がないので

簡略化された非臨床試験でいいことになっている、ということだ。そのうえで「ワクチンの有効性及び安全性を評価し承認しています」という返答である。

「国もリスクとベネフィットのバランスの中でワクチンの承認許可を与えていますが、では安全性が100%、1000%確認されるまで使ってはいけないのか。そうだとすれば、その間に感染症で亡くなる人も出てきます。今後、人においての有効性及び安全性のデータは医療現場で安心して使っていたために必要です。それから、市販後のデータを蓄積し、それを国に報告し、医療機関にも提供し

ます。安全性も含めた追跡調査をし、透明性をもってできる限り速報していきま。より安全なワクチンを作るというのは、我々の使命だと思っています」

これまでmRNAワクチンによる健康被害の実態を、国は国民に積極的に情報公開してこなかった。また大手のテレビや新聞でもほとんど報道されていない。何より肝要なのは、広く情報共有されることだ。

新型コロナウイルスによる健康被害を受けた人たちの計13人が集団提訴した、訴訟の原告代理人弁護士である青山雅幸氏はこう話す。「新型コロナウイルスは過去最大の薬害事件であるにもかかわらず、国は国民に對して正しい情報を与えてきませんでした。その罪は、重いと言わざるを得ない。なぜなら国民が本来、有している自己決定権を、完全

に侵害していることになるからです」

「自己決定権」とは、自分の生き方について公権力から干渉されることなく、自由に決定できる権利であり、憲法で保障された大切な「幸福追求権」の一つだ。先週、本誌で報じたとおり10月から接種できる新型コロナウイルスには5種類あり、医療機関により何を用意しているかは異なる。各病院や自治体に問い合わせれば、どのワクチンを選べば、どのワクチンを選べば、自分の体は決して代替の利がない、たった一つのかげがえのないものであるからだ。

なにより大事なものは、さまざまな治験や意見をもとに一人一人が納得してワクチンを接種する、あるいは接種しないと決めることだ。なぜなら、誰にとっても自分の体は決して代替の利がない、たった一つのかげがえのないものであるからだ。

本誌取材班

みずほFG、楽天カードに出資へ デジタル経済圏取り込みを加速

みずほフィナンシャルグループ（FG）は、楽天カードへの出資に向け、楽天グループと協議入りすることと合意した。出資比率や出資額などの詳細を詰め、年内にも資本・業務提携を結ぶ。これに伴い、楽天グループは4月に公表したグループの金融事業再編は見

みずほFGはすでに楽天証券に49%を出資しており、今年4月には共同出資で個人投資家の相談にのる「Miraiウェルス・パートナーズ」を発足させている。楽天証券に続いて楽天カードへの資本参加により、両社の距離は一段と縮まる。



みずほフィナンシャルグループの木原正格社長



楽天グループの三木浩史会長兼社長

合わせる意向だ。

法人分野で幅広い顧客基盤を有するみずほFGとの提携を通じて、楽天は法人分野での成長を加速させる。みずほ側も、カード発行枚数が3000万枚を超え、個人向けに強みを持つ楽天カードとの提携で事業を強化するのが狙いだ。

だが、今回のみずほFGによる楽天カード出資の狙

いを額面通りに受け取る市場関係者は少ない。「楽天グループは携帯事業（楽天モバイル）への投資で巨額な負債を抱え、その償還資金の捻出に苦慮している。今回の出資は、楽天グループが抱える財務問題へのメインバンクみずほの処方箋の意味合いがある」と大手証券幹部は語る。

出資検討に合わせ、楽天グループが金融事業再編を見合わせたのはその証しにほかならない。金融事業の再編は資金の捻出を意図した部分があったことは確かだ。それだけでは足りない。みずほが描く「デジタル経済圏の取り込み」という大きな戦略もある。

銀行はIT事業者の銀行

を把握し、いろいろな商品の提案をするのが競争力の源泉だが、資金移動業者に給与のデジタル払いが握られれば、情報の優位性は失われる。

こうした危機意識から銀行界は「給与デジタル払い」の議論が始まると、「デジタルマネーの事業者が経営破綻した場合に給与等の支払いが滞る」「マネーロンダリングに悪用される懸念も残る」など問題点を挙げ、防戦を図ってきた。

だが、銀行は防戦に終始しているわけではない。あるメガバンクのトップは、「給与デジタル払いは近い将来、社会インフラとして定着する。そうしたデジタル社会を先取りする戦略を練らなければならない」と指摘する。みずほFGと楽天グループの接近は、両社による巨大なデジタル経済圏への布石と見ていい。

（森岡英樹）

12月2日まであと2カ月

やっぱり、健康保険見直す

立憲民主党代表代行

長妻 昭

現行の健康保険証の新規発行廃止まで60日を切った。本誌が何度も報じてきたように、世界に誇る「国民皆保険」制度を死守するためにも、保険証廃止は立ち止まるべきだ。マイナ保険証問題に異議を申し立て続けている立憲民主党代表代行の長妻昭氏と経済ジャーナリストの荻原博子氏の対談をお届けする。

証廃止はべきだ!

経済ジャーナリスト

荻原博子

10月1日召集の臨時国会で、石破茂氏が第102代首相に選ばれた。デジタル担当相も、河野太郎氏から平将明氏に変わった。そのために「健康保険証廃止」にも、見直しが入る可能性が出てきた。

自民党総裁選前、石破氏は「期限がきても納得しない人がいっぱいあれば、（現行保険証との）併用も選択肢として当然だ」と語っているからだ。

厚生労働相経験者で立憲民主党の長妻昭代表代行に、多くの人が感じている「マイナ保険証」の危うさと、廃止を急ぎ過ぎて不利益を撒き散らす実態を聞いた。

「マイナ」の死亡事故、確認していない!?

荻原博子「週刊新潮」がマイナ保険証での死亡事例を報じています（6月20日号）。岐阜県で具合が悪くなって病院に行った人が、

マイナ保険証の読み取りができずに受診を控えたら、心筋梗塞でお亡くなりになってしまったというのです。これについて問われた当時の河野太郎デジタル担当相は、「厚生労働省に聞け」の一点張りだったようですね。

長妻昭 これは由々しき問題ですよ。普通は、マイナ保険証で診療を受けられなかった人が死亡するというような報道があったら、いの一番に事実関係を確認し、もし事実と異なるなら会見の場でできつぱり否定すべきです。ところが、肝心の事実確認を当時の河野デジタル担当相は厚生労働省任せで、武見敏三（厚労相当時）は「そういう事実実は、私は確認していません」と会見しています。

もし事実が違うなら、「週刊新潮」に毅然として抗議するはずですが、厚生労働省はこの件を調べた形跡もな

い。医療は人間の命に関わる問題です。命に関わるような事故が起きたら徹底的に原因を解明しなくては国民の信頼は得られません。こんな無責任な状況で保険証を廃止するというのは間違っています。

荻原 おっしゃるとおり。これでは、マイナ保険証普及のためなら人が死んでもかまわないのかと言われても仕方ないでしょう。

「廃止しないと二枚舌」

荻原 マイナ保険証の病院窓口での利用率は、8月で12・43%。なんと8人中7人は「保険証」を使っているのに、これを2カ月後に廃止するというのです。

長妻 まったくありえないことです。しかも、病院に最大40万円をバラ撒き、利用率が悪い病院には聞き取り調査に入ると脅し、それでも7月の11・13%から

それほど増えていない。

先進国を調べても、紙を強制的になくして、普及率の低いデジタルだけでやるなんていう事例はほとんどありません。

荻原 問題は、厚生労働省が医療状況を見ながら決めたのではなく、ある日突然、医療とは関係ないデジタル担当相が、現場を見ずに廃止を独断で決めたこと。

デジタル化で不便に!

石破新首相は、総裁選の前に「納得しない人が多ければ強行しない」と言ったので、12月2日の廃止がそのままなら二枚舌ということになる。ぜひ、きたる総選挙では「廃止見送り」を公約に入れてほしい。国民は、見えています。

荻原 私も、長妻さんと同様に、デジタル化には賛成です。ただ、紙の保険証をなくすることで不便になる。なぜなら、病院の窓口は、「マイナ保険証」「暗証番号のないマイナ保険証」「資格確認書」「スマホのマイナ保険証」など、複数の確認システムに対応しなくてはならず、そのために人を雇わなくてはならないという病院もあるからです。

長妻 デジタル化することによって、誰でも平等に受けられる日本の医療は世界に誇れるものです。その医療が、

無理な「オンライン化」で医師が辞めていく

長妻 誰でも平等に受けられる日本の医療は世界に誇れるものです。その医療が、

ある日突然決まった廃止

「医療DX」で国民は不便に、医師は辞めていく

マイナ保険証のゴリ押しで危うくなってきました。特にマイナ保険証で「医療DX」をやりたいがために、すべての病院をネットで繋ごうとしている。

DXそのものは、安全で便利に使えるなら歓迎ですが、高齢の医師が1人でやっているような僻地の診療所まで一斉にオンライン資格確認を原則義務付けている。結果、対応できない診療所が、どんどん閉鎖して



マイナ保険証の利用実態調査結果を公表する愛知県保険医療協会

います。もう少し頑張ってもらえそうな年配のベテラン医師をないがしろにしては、日本の医療にとって大損失です。

荻原 私を知っている医者も、オンライン整備に300万円くらいかかるのだけれど、高齢で後継者もおらず、僻地で患者も少ないので、今さら300万円もの借金は負えないと、昨年、廃業しました。医者に去られて無医村になると、病気になる時は山を越えて隣町まで1時間以上かけて行かなくてはならない。結果、助かる命も助からないケースが出てくる。

長妻さんは、厚労相時代、僻地医療にかなり気を配っていたと記憶しています。が、今のやり方だと、必死で踏ん張っている弱いところから、切り捨てられていきますよね。

長妻 そうです。日本が世界に誇る大きな財産は、国

民皆保険と国民皆年金。長年かけて築きあげた立派な社会インフラです。そういうものを、厚労省の審議会もまったく通さずに、厚労省の官僚さえも知らない中で、国民にも何の説明もなく、デジタル担当とその取り巻きで決めていくというのは論外。

人の命を左右する医療を、デジタル普及の道具として使うなどあてはならないことです。

「お薬手帳」は最強！

荻原 そもそも、「マイナ保険証」ならより良い医療が受けられる」と、国民を騙してますよね。マイナ保険証の情報は、病院が診療報酬を請求した請求書ともいえる「レセプト」の情報。がんの検査をしたことはわかって、その結果、どうだったかはわからない。しかも、情報がリアルタイム

不安を煽るという理由で。マイナ保険証も同じで、安全です、便利ですよというところに山のようにお金を使い、皆さんのカルテ情報が漏れたら、こんなことが起きますという説明はいつさししない。本来なら、情報漏れに備えて事前にこうした対策をしてくださという案内をすべきですが、それは不安を煽るからという理由でやらない。

の情報は、患者のプライバシー保護には使えないというお医者様が多く、「より良い医療」なんて、看板に偽りあり。

長妻 そうですね。特に薬の情報は、マイナ保険証だと2カ月前の情報のため、その間に病院で他の薬を処方されていてもわからない。厚労省は、最初はマイナ保険証があれば「お薬手帳」は必要ないと言っていました。が、途中で「お薬手帳」が必要だとわかり、要らないとは言わなくなりました。明らかに「お薬手帳」のほうに、リアルタイムで役に立ちます。

来年1月から「電子カルテ情報」が載る

ただ、怖いのは、すでに来年の1月以降から「電子カルテ情報」を順次載せることが決まっていることだ。

荻原 カルテ情報といえ

アナログな紙などを残した上でデジタルのものも出し、自然に便利なデジタルになじんでいくように、時間をかけて徐々に進めているのです。日本では、高齢者でもデジタルになじむようなアドバイザーを置いていたり、扱いにくさを改善するための技術者をユーザーのところに派遣したりするというきめ細やかな対応はありません。

3年後には、また税金使って「新マイナカード」!?

荻原 これだけ大騒ぎして、しかも今の「マイナカード」は脆弱だから、2026年には「新マイナカード」を出すという。そのためのカードリーダーが、まだ必要になるかもしれない。行き当たりばったりもいいかげんにしてほしい。

長妻 マイナ保険証は、不便で不備の連続。多くの人

ば、まさに、患者のプライバシーそのものですよね。

長妻 そうです。そうなれば怖いのは、患者の医療の個人情報丸裸にされてしまうこと。こうした情報は高く売れるので、ハッカーなどに狙われやすい。それを、日本政府が100%防げるのかは不安ですね。

荻原 そもそもデジタル庁は、マイナナンバー制度での個人情報登録で、異例とも言える行政指導を受けています。これ自体ありえないことですが、その個人情報安全管理対策が不備だと指摘されたデジタル庁が、大切なカルテ情報を扱うなんて、考えただけで背筋が寒くなる気がします。

長妻 これは由々しき問題です。今、病院では、システムの脆弱なところからランサムウェアを仕込まれ、「カルテ情報」などを人質に、多額の身代金を要求する犯罪が、世界中で後

が不安を抱くのは当たり前なのに、不安にはいつさい耳を貸さない。デジタル庁の一部に「反対する人は時代遅れの人だから、もう意見など聞かなくていい」という偏見というか驕りがある気がします。

政治は、マラソンで後ろを走っている人に合わせなくてはならない。多少の犠牲があっても進めていくのが政治家の度量みたいなことをおっしゃる人もいますが、それは違うと思う。力のある人は、自分でやっていく。政治で救わなくてはならないのは、ついてこれない人。そこを切り捨てる風潮は、見過ごせません。

パーティー券を買ったり献金をする金持ちを優遇する政治ではなく、それができない人の声に耳を傾けるべきだという長妻議員。

石破新首相に、こうした声は届くのだろうか。

政治は後ろを走っている人に合わせなくてははいけない

政治は後ろを走っている人に合わせなくてははいけない

川柳で詠む「永田町」

葉月亭遊人 ペンネーム

生きものの劇場

ソツないが器用と貧乏紙一重



官房長官 林芳正

あだ名は救急車。大臣がいなくなる電話で呼び出されて駆けつける。西川公也農水相が金銭不祥事で辞任した後釜、茂木が外相から幹事長になった後任、そして裏ガネで辞任した松野博一官房長官の後に登用されて、石破内閣でも留任となった。本人は誕生日が1月19日なので「119番」と呼ばれて満更でもない▼英語も得意だ

し、G7の夕食会でピアノで「イマジン」を弾いてヤンヤの喝采▼すでに総理を目指して参院から衆院に鞍替えして、今回2度目の総裁選。ソツない公約と議論で4位に滑り込んだ。でもね。裏を返せばこれといった特徴のない器用貧乏。救急治療はできるけど、病院長は務まらない。セールスポイントを作らないと便利男で終わるぞ。

案の定三日天下も取れず消え



自民党前幹事長 茂木敏充

総裁選が始まる前は余裕をかましていた。「最初に手を挙げる明智光秀にはならない」と。なにしろ幹事長だ。自分の派閥もあるし、麻生サンもついている。横綱は最後に登場するもんだ、と思っていたら9人も立候補だからアセった▼で、良いことづくめの公約を出したが、これが総スカン。「増税ゼロで防衛力増強も子育て支援も

実現する」。岸田内閣の方針を全部ひっくり返した。おいおい幹事長じゃなかったの？ そして財源は「生産性が1%上がれば、1.4兆円の税収増」といままらの希望論▼結果は総裁選1回目の投票で6位。傲慢と言われようと首相になるために突っ走ってきたのに。戦いすんで日が暮れて。夕日を眺めながらオレ様は何を思う……。

初めからカトウと思わずなぜ出馬



財務相 加藤勝信

謎だ。どう考えても勝てるはずのない自民党総裁選に、なぜチャレンジしたんだろう。確かに官房長官や厚労相を歴任、政策通の評価も高いけど、いかんせん地味で知名度も低い▼おまけに同じく立候補した茂木前幹事長の派閥に所属したままの出馬だ。当然、20人の推薦人集めにも四苦八苦。やっと「出走」できたけど、予想通り

の最下位に▼さらに、国会議員票ではなんと推薦人を4票も下回る16票だった。もちろん本人は自分に投票したはずだから5人も「裏切り者」がいた計算に▼出馬の裏に菅義偉元首相の思惑が、なんて噂もあるけど。まあ、それでも石破政権の財務相が手に入ったんだから、やっぱり「参加することに意義が」あったのかもね。

マイナ太郎得意の分野で沈没す



前デジタル相 河野太郎

前回の総裁選では岸田サンに負けたものの、1回目の投票は岸田256票、河野255票の人気者。今回も当初調査で石破、高市、河野が競っているなんていわれたが、結果は9候補中8位のブービー賞。得意のマイナカードでミソをつけた▼太郎クンの最大の間違いは「自分が正しいと思うことは、みんなも正しいと思うはず」という

思い込み。いっこうに増えないマイナ保険証にイラついた▼医療機関の7割が「現行の保険証を残すべき」というアンケートに「保険証を残せ」というアンケートは百害あって一利なし。名古屋市民から「コンビニで住民票などの交付ができない」という声に「市長を代えてください」と意味不明の反論。まずは傲岸不遜を変えないとね。

新政権で議論は滞る 石破首相の変節とブレ

成城大教授

森暢平



皇位継承問題でも新首相石破茂はブレブレである。もともと女系容認と見られた石破だが、総裁選が始まると旧宮家養子案支持に傾く姿勢まで見せた。短期間でここまで変節する政治家も珍しい。石破が首相である限り、皇位継承議論が滞るのは確実だ。(二部敬称略)

今回の自民党総裁選を睨んで出演した8月4日のネット番組「ABEMAのニュースショー」で石破は、「我々、安全保障を仕事としてきた者は、あらゆるリスクというものを考えて、『想定外でした』『考えてもいませんでした』『みたいなことを言っちゃいけない』と皇位継承を、自分が得意の安全保障分野に類比したうえで、次のように続けた。

女系容認とまでは言っていないと強調

石破は2020年9月の総裁選でも「悠仁さまにしかかるご負担は想像に絶するものがある。男系の女性天皇は当然ありえるが『女系』という選択肢は排除されるべきではない」と明確に女系を含めた検討を訴えた(『朝日新聞』2020年9月8日)。だから、「女系を含めた検討」は石破の政治的信念だと判断できる。



これでいいのか
「旧宮家養子案」
—第32弾—

皇位継承問題は塩漬けか。写真は首相官邸での記者会見(10月1日 代表撮影)

ところが、石破は少しずつ発言を変化させた。今年8月28日、政治解説者、篠原文也が主宰する「直撃! ニッポン塾」で、「女系天皇を容認しているのか」と問われた石破は「完全に排除して議論すべきではない」と言っているだけだ。容認するとは言っていない」と説明した。もっとも「最初から(女系議論を)排除して考えるものではない」というスタンスは維持した。「石破氏が女系容認」と報じられたので、「女系」を議論の俎上に載せるとは言ったが、容認するとはまだ言っていないと釈明したのである。

総裁選が告示された9月12日のフジテレビ系の夕方報道番組「イット!」では、総裁候補の小林鷹之から「女系天皇を容認しないのであれば、なぜ考えを改められたのか」と突っ込まれた。石破は「いままで男

補佐官にした長島の男系固執にすり寄る

踏み込んだのは9月14日、石破の推薦人となった衆議院議員長島昭久の動画「あきチャンネル」での発言である。長島から「ズバリ、女系

天皇容認が否かを問いたいと思います」と聞かれた石破は、「それは男系男子が最優先でありますよ。いま、悠仁さまがおられるわけだから、それは男系男子で継承できるわけです。これから先もそうあるべきだ。それを守っていくというのは当然のことです。(略)天皇さまとこのことをどうやってこれから先もきちんとお守りしていくかというところなのであって、いかにして男系男子で継承していくかということについて、あらゆる方法を尽くして、やっていかねばならないということでもあります。もうそれ以上でも、それ以下でもない」と答えた。さらに、「男系男子です」と継承してきたのだから、それを変える理由はどこにもないわけですよ」と続けている。

リスクを回避する目的で、あらゆる議論を排除しないと述べていたのに、ここでは、男系男子で継承するためにあらゆる方法を尽くすと変わっている。あらゆる議論や方法の目的が、男系継承維持にすり替わっているのだ。

佐してもう代わりには、皇位継承政策では長島に寄っていったというふうに見える。女系容認の論陣を張る漫画家小林よしのりが主催する「ゴロ宣道場」に、石破は何度か登場し、女系容認的な態度を示している。小林はブログで、「石破茂と長島昭久の動画見たか? あそこまではっきりと、男系固執なら、もっと早く言ってくれよ。(略)政治家って汚いよなあ。平気で騙して、権力の座が見えりや、あつという間に手のひら返すもんなあ」と嘆いた(10月1日)。その怒りは、むべなるかな、である。